

平成29年8月7日～8日 台風5号の概要、治水事業の効果 (北川水系北川)

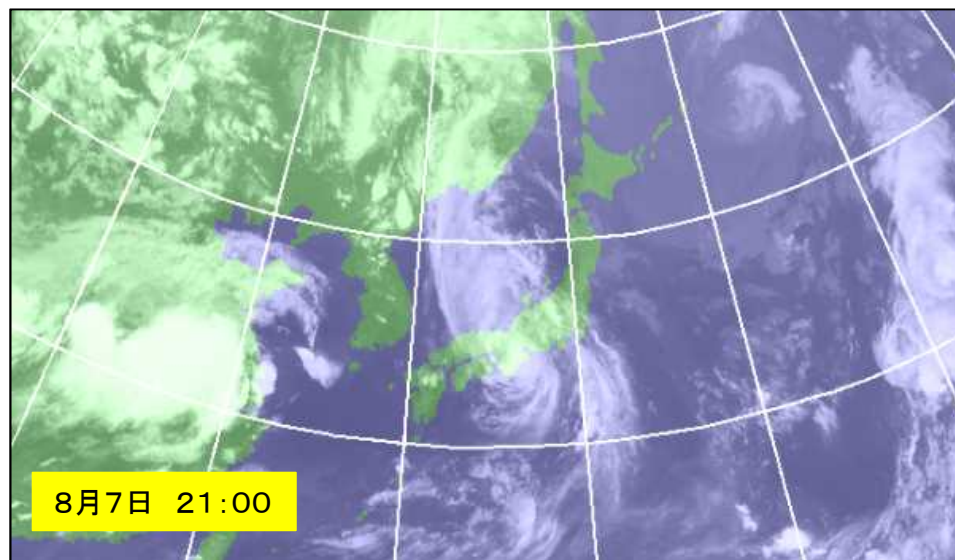
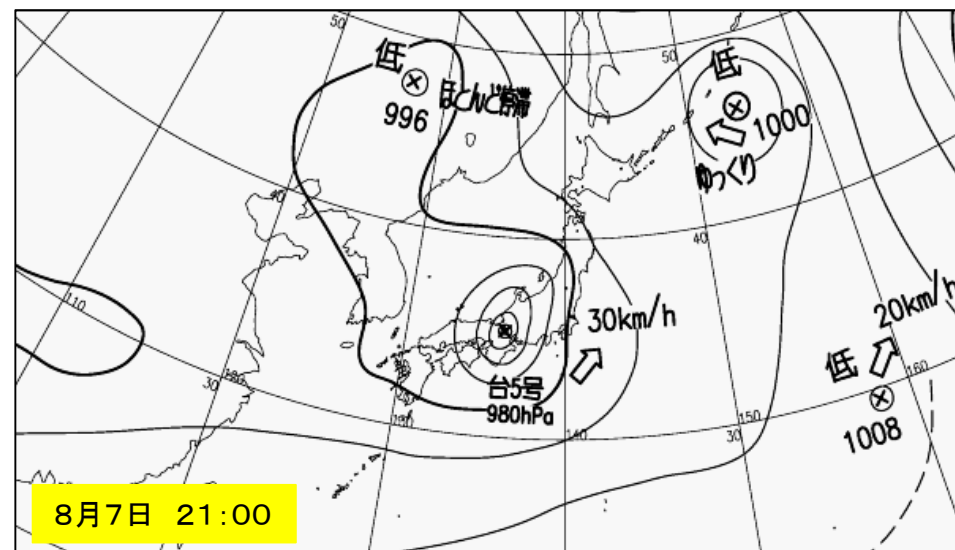
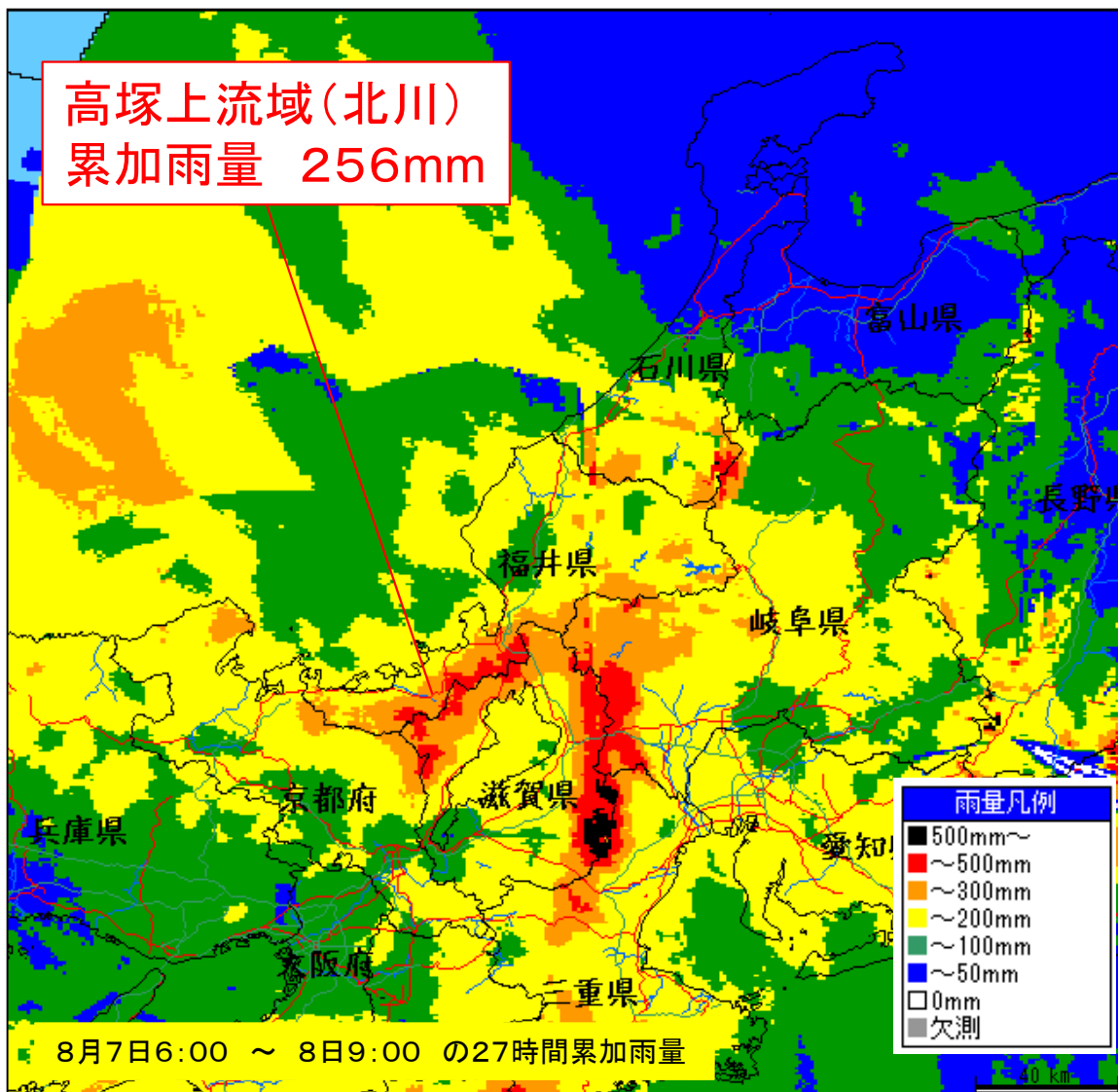
平成29年8月9日

国土交通省 近畿地方整備局
福井河川国道事務所

平成29年8月7日～8日(台風5号)の概要

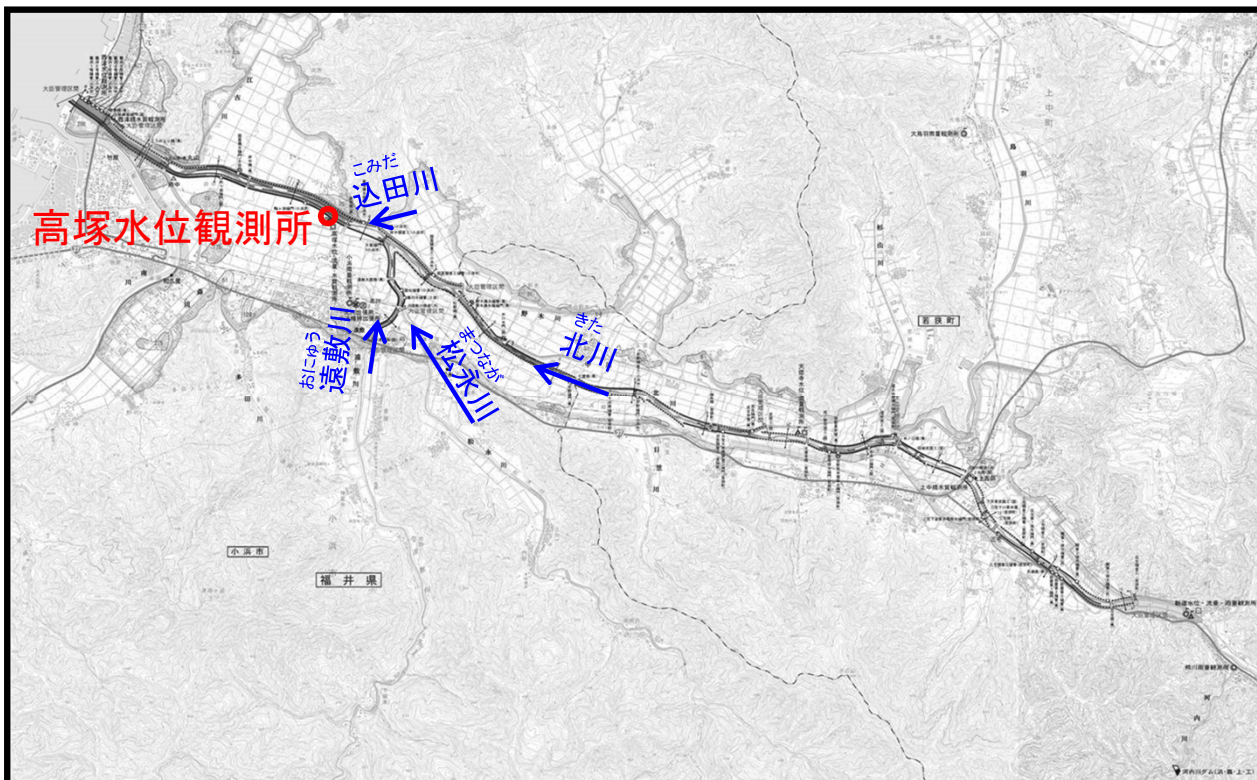
台風5号の影響により、8月7日の夜から8日朝にかけて、近畿北部の福井県で非常に激しい雨が降り、降り始めからの雨量は多いところで250ミリを超える大雨となった。

累加雨量レーダ

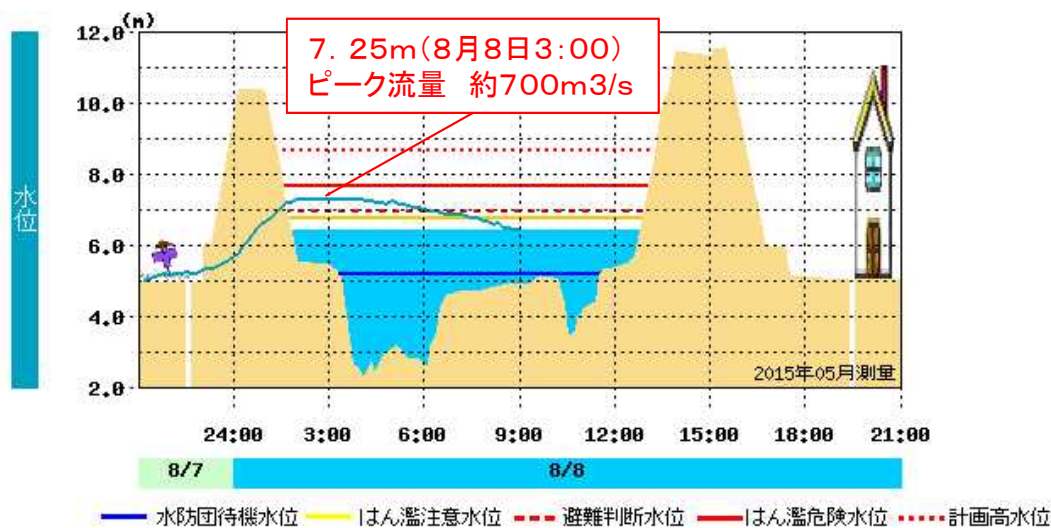


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

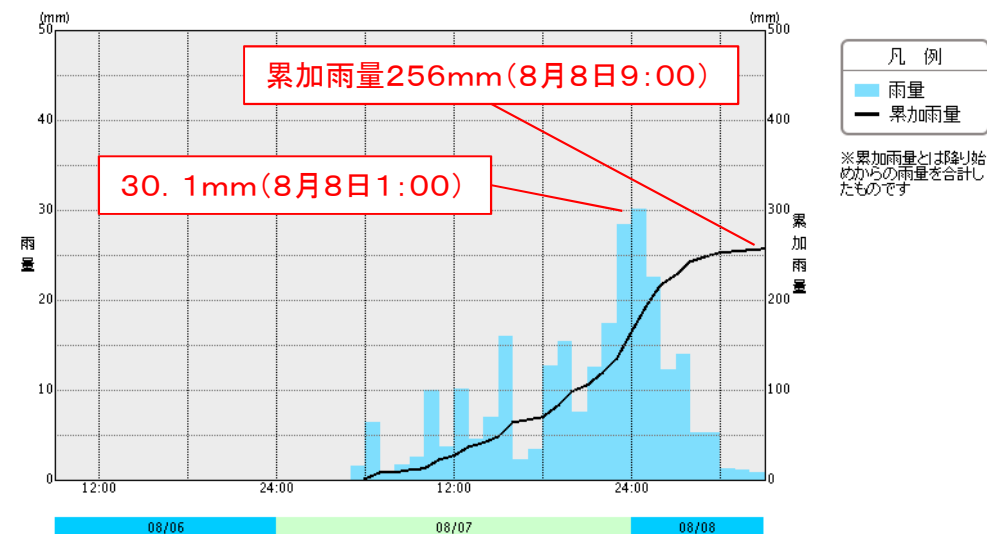
流域の状況(北川水系北川)



■ 水位の状況(高塚水位観測所)【8月8日9時時点】



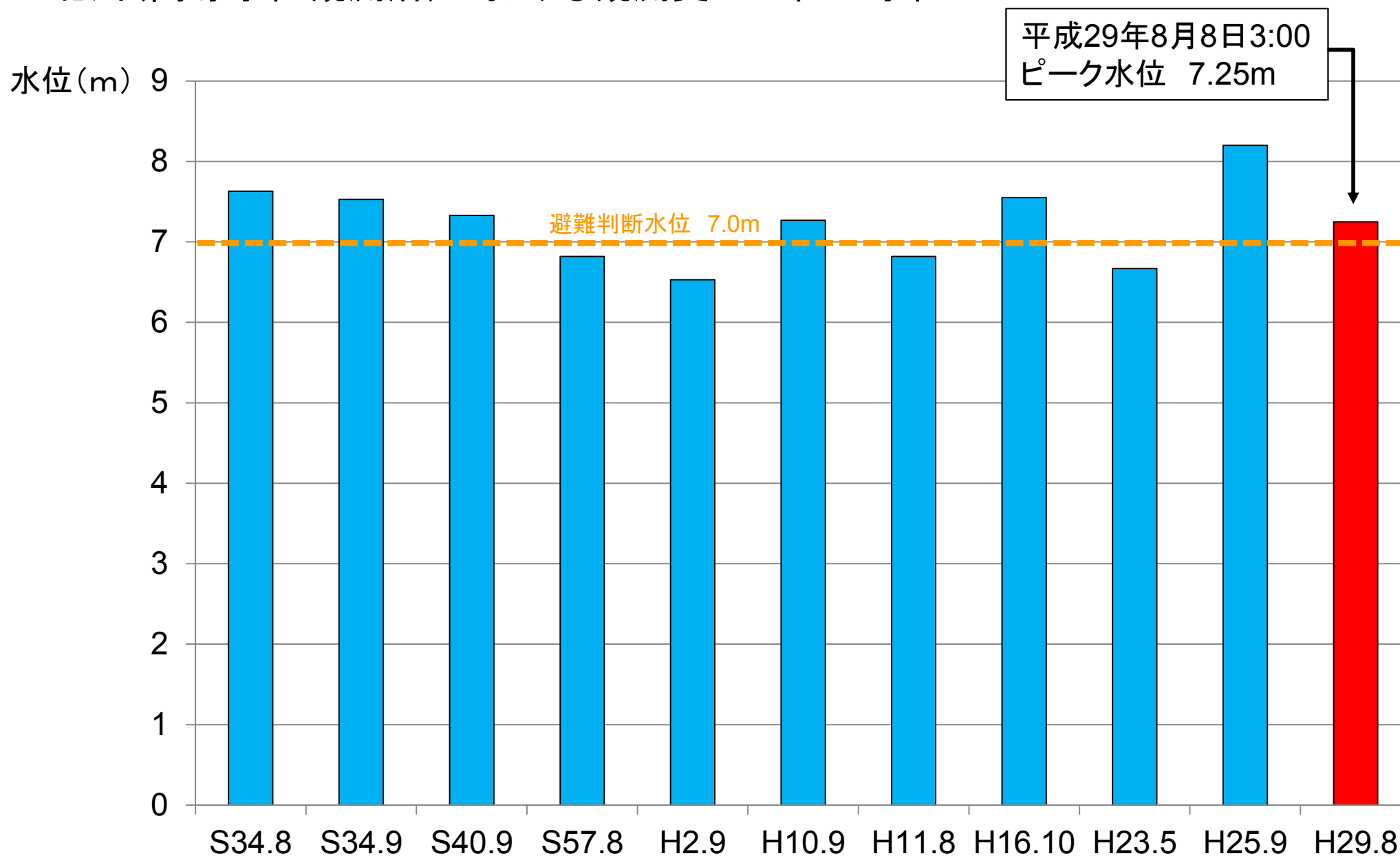
■ 降雨の状況(高塚上流域)【8月8日9時時点】



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

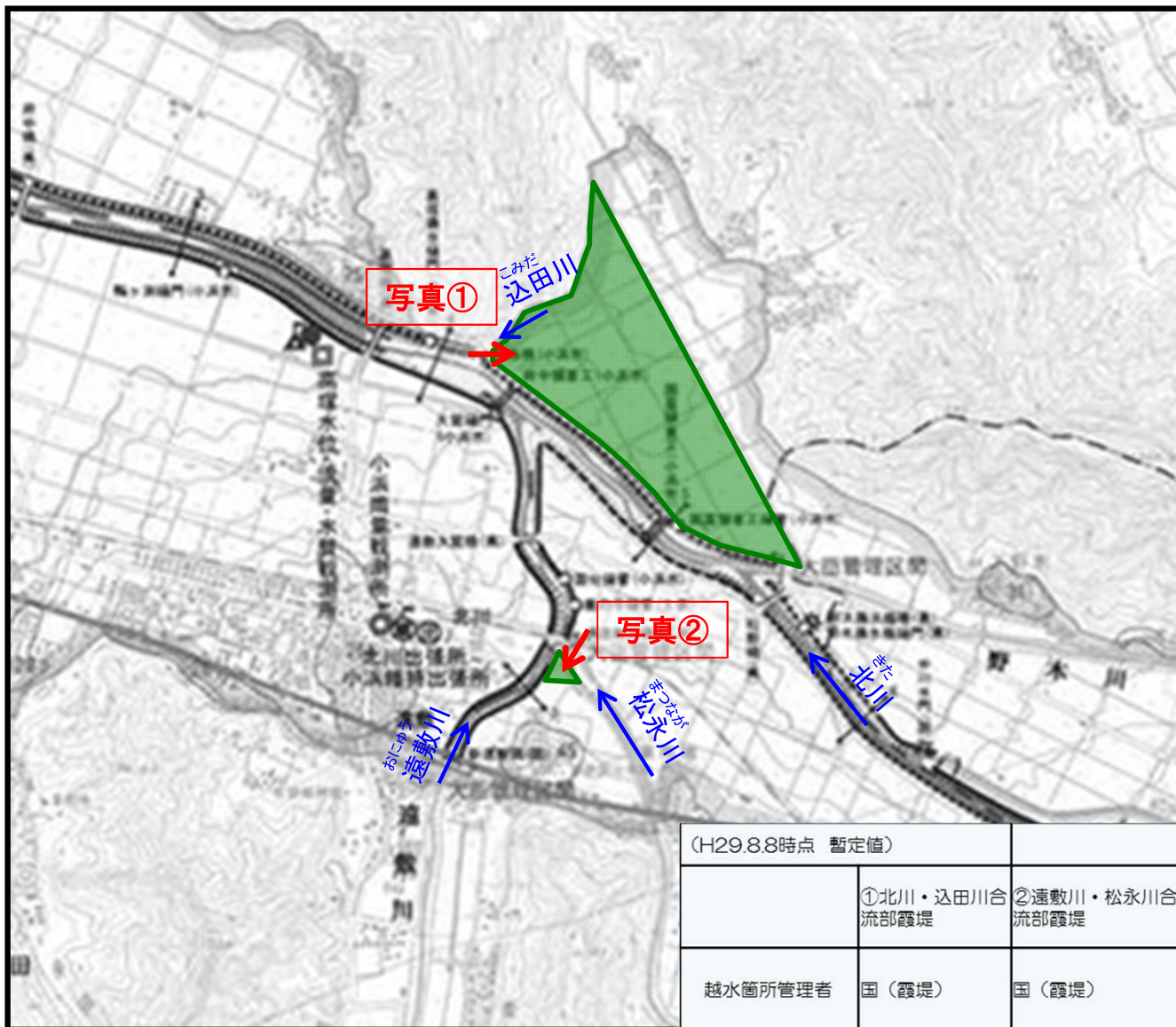
水位の概要(北川水系北川)

■北川(高塚水位観測所)における観測史上上位の水位



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

霞堤による浸水(一時貯留)状況(北川水系)



		(H29.8.8時点 暫定値)	
		①北川・込田川合流部霞堤	②遠敷川・松永川合流部霞堤
越水箇所管理者		国(霞堤)	国(霞堤)
距離標		北川右岸4.2km	遠敷川右岸0.8km
要因		霞堤	霞堤
浸水面積(ha)		約37.5	約3.5
家屋浸水	床下(戸)	0	0(暫定)
	床上(戸)	0	0(暫定)



写真①



写真②

: 霞堤による浸水(一時貯留)範囲

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

今回の洪水に対してこれまでの河川整備が効果を発揮

○北川水系北川では、昭和28年台風13号により、堤防が決壊するなど甚大な被害が発生した。
 ○現在は、平成24年に策定された河川整備計画に基づき、河口部から順次河床掘削を実施している。
 ○平成29年8月洪水では、北川の西津地点において水位1.21mを記録したが、河床掘削を行ったことにより、**西津地点において約0.8m、北川0.6kにて最大約1.1mの水位低減効果**を發揮することができた。引き続き、河内川ダム建設や河床掘削を実施することによって、さらに水位低減効果を見込むことができる。

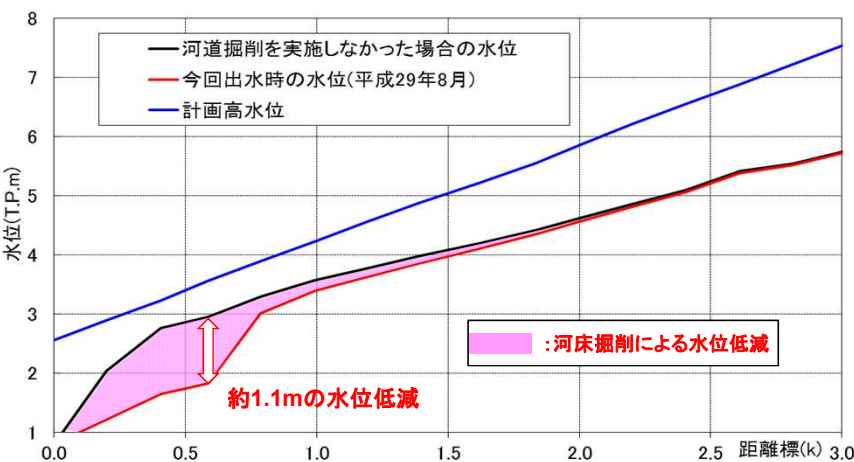
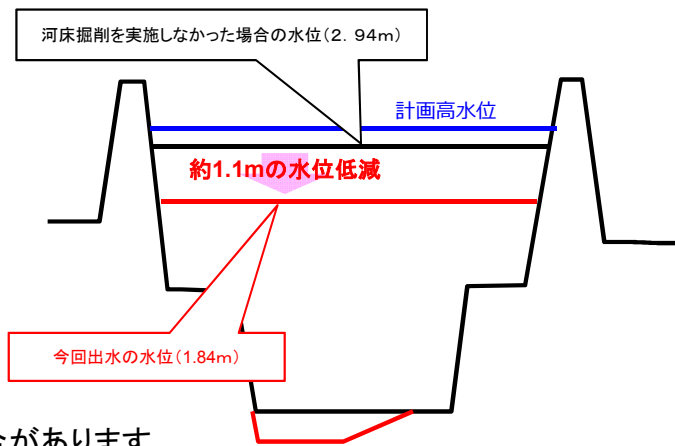
出水規模の比較

	H29.8 台風5号		(参考) 戦後最大規模 (S28.9 台風13号)
	整備前	整備後	
総雨量 (高塚上流域)	253mm		254mm
流量 (高塚)	約700m ³ /s	約700m ³ /s	1,450m ³ /s
水位 (西津)	2.03m	1.21m	不明
浸水被害	調査中		浸水家屋 約4,080戸

洪水の写真



水位低減効果【最大】 (0.6k)



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。